

## 高校生との意見交換会 報告書

地 域 名	県立八鹿高等学校		
年 月 日	令和4年2月2日(水)	会 場 名	八鹿高校及び議員控室(オンライン)
開始時間	15時40分	終了時間	16時45分
参 加 数	生徒 8人	議 員 6人	合計 14人
班 長	藤原芳巳	司 会 者	藤原芳巳
報 告 者	藤原芳巳	書 記	津崎和男
班 員 名	藤原芳巳、勝地貞一、瀬原敬樹、田村和也、津崎和男、西田雄一		
	学 生	議 員	
意 見 交 換	<p><b>テーマ1「 将来の夢や目標、理想の働き方、暮らし方について」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 夢は小学校の教師になること。大学進学で4年間離れるが、将来は、養父市か朝来市に帰ってきたい。</li> <li>○ 医療にかかわる仕事につきたい。養父市に帰ってくるかはわからない。高齢化の進む中で、若者が医療に積極的ににかかわることは大切だと思う。</li> <li>○ 薬剤師になりたい。修学支援制度を利用する。地元に戻って貢献したい。</li> <li>○ 社会の役に立つ仕事をしたい。地元を活性化するような仕事、例えば市議会議員や審議会委員とか。少子化などの過疎地域をどうにかして活性化したい。</li> <li>○ 将来の夢は決まっていない。大学に行って自分のなりたい職業を見つけて、何らかの形で地元に戻ってきたい。自分のなりたい職業に就いて、楽しく働くことが理想だ。</li> </ul>		

意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療関係に、主にリハビリの形がかかわりたい。地域にも高齢者がたくさんいて、そういう人たちを支えていきたい。</li> <li>○ 地域社会に根差して貢献できるような仕事をしたい。学級委員や生徒会活動で人の役に立つことが楽しい。うれしい。将来もそう位置付けて行けるように、今努力している。</li> <li>○ 進路はまだ決めていない。</li> <li>○ 他のまちとの差別化が大切。他のまちにないIT企業とか、差別化ができるものがあると良いのではないか。</li> <li>○ 施設や仕事よりも、人口を増やすことが大切。YBファブ、いい施設で放課後通っている。場所を作っても子どもが少ないから、将来帰ってくる人数も少ない。養父市を全国にPRしたらもっといろんな人が入ってくるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来養父市に住もうとすると環境づくりが大切。現在どんな企業や施設があれば、若者が帰ってきやすいのだろうか。</li> <li>○ 人口を増やすことが一番大きな課題だが、ただPRするより、養父市をいかに魅力あるまちにするかが大切。差別化もその一つ。市の施策はいろいろあるが、このまちが選ばれる何かを求めたい。若い方の考え・ヒントになるものをお聞きしたい。</li> </ul>
------	---	--

意見交換	<p>テーマ2「若者が住みたい、住みやすいまちにするには」</p> <p>○ 施設を作るよりも、私は電車通で駅まで2.2キロ歩くが、八鹿の人は挨拶しても返事が返ってこない。それが悲しい。挨拶などで地元とのつながりができて、将来Uターンしてきたときに「大きくなったね」とかのつながりが欲しい。この、根本的なところが大切だと思う。</p> <p>○ 八鹿に住んでいて、住みにくいと思うことはあまりない。自然もきれいで、あえて言えば保育所など子どもを預けるところが少ないと感じている。</p> <p>○ 近場にスーパーが無いとつらい。電車を通っているが、八鹿では欲しいものが買える場所がない。そこが少し不便。</p> <p>○ 娯楽施設を増やしてほしい。カラオケはあるが、映画館やイオンなどが無いと、若者には物足りない。</p> <p>○ 但馬は交通の便が悪い。電車が1時間半～2時間に1本では、車を持たない若者にとっては、遊びやショッピングなど遠出をする時に不便である。</p>	<p>○ 「あいさつ橋」と名付けて、その橋を通る時は、挨拶を心がけるなど、やったこともあるが、なかなか挨拶ができていないのは残念。</p> <p>○ 距離的な問題はあるかもしれないが、現在養父市に待機児童はいない。</p> <p>○ 但馬はクルマ社会。特に高校生は通学範囲が広く、駐輪場整備はできたが、電車・バスの運行は少なく、何か対策がいると思う。</p>
------	---	---

意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ YBファブは、勉強するスペースも増えてよいと思う。余っている施設などを利用して、勉強できる空間をもっと作ってほしい。</li> <li>○ 養父市は自然が豊かだが、その分不便。そのギャップを埋めていけばよいのではないか。</li> <li>○ 慣れてしまったのか、不便は感じていない。電車の本数が少ないのが悩み。</li> <li>○ 職がないと住めない。企業誘致などが必要だが、整備が十分でないなら、このまちに住んで豊岡や他市に通勤する。働きに出る。そのためにも、交通費や揮発油税に支援が必要である。</li> <li>○ 情報はあまり届いていない。市政の取り組みも聞こえてこない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今、皆さんが望んだことは、かなえるのは難しく、教育・医療・娯楽施設などは将来減っていくと考える。すべてトレードオフで、明るい未来はない。養父市の魅力・メリットを考えると人口や財政規模が小さいことで変革していきやすいこと。都会では多くの意見集約が必要だが、養父市は少ない意見で変えていける。</li> <li>○ 養父市内の行政や企業からの情報発信は十分か。養父市には企業が1,048社あり、平成28年度には1,188億3,600万円稼いでいる。長寿の郷や文化会館もある。こんな施設が欲しいとか、行政が皆さんの声を聴くサイトがあればいいと思う。高校生に情報は届いているだろうか。</li> <li>○ 養父市は但馬の中心に位置している。朝来市や豊岡市には工業団地がある。養父市も作りたいが経済状況が許さない。中心なので但馬のどこへでも勤めて生活できる。奨学金制度もあるので、それらを活かしながら養父市に住んでいただきたい。</li> </ul>
------	--	--

意見交換	<p>○ 議員によって養父市の企業は稼いでいるという方もあり、財政的に企業誘致はできないという方もある。養父市のお金はどのように使われているのか。</p> <p>○ 高校生には情報は入って来ない。養父市の魅力もわからずにいると、故郷に戻る気持ちがわきにくい。高校の特別授業などで養父市の魅力や課題についての学習の機会を作ってほしい。</p> <p>○ 情報は入ってきにくい。調べることにメリットがない。もっと定期的に交流の場をもって、議員と話せる場を開くと、言いたいことがあるから調べるようになる。</p> <p>○ 今回初めて議員と話した。八鹿高校に出向いて授業などしてほしい。</p> <p>○ 議員ともっと話をして、市の政治がどこへ向かっているのか知りたい。生活にお金がかからないようにすることが大事。高校生が養父市を知れば、親も周りも知ることになる。但馬や地域を知るための学習の機会を作ってほしい。</p>	<p>○ 養父市の標準財政規模は 115 億円ほどだが、市税は 24 億円ほどしか入ってこない。足りないところは地方交付税で国が賄う制度になっている。過疎地域には過疎債という有利な借入れ制度もある。バランス良く市民のために予算を使うには、市民と市と議会と一緒に考える必要がある。今日は若い皆さんのニーズをお聞きしたい。</p> <p>○ いかに情報を流していないかと感じている。市や市議会からも情報を流したい。高校生との意見交換の後、駐輪場は実現している。今回も皆さんの意見を役立てたい。</p>
------	---	--

		○ もっと話し合うことが大切。今後もこのような機会を持ちたい。
ま と め	<p>○ 高校生の思いや意見は概ね次のような内容であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶という基本的なことから、地域との絆を育んでいきたい。</li> <li>・若者が買い物できるような店や娯楽施設がほしい。</li> <li>・公共交通の利便性を上げられないか。</li> <li>・Y Bファブでの勉強できるスペースはありがたい。余っている施設を使って、もう少し増やせないか。</li> <li>・高校生に、養父市の魅力をもっと知らせるべき、特別授業などで学習できないか。(ふるさと教育はできている。市外から来た生徒にどう伝えるか。)</li> <li>・養父市は、ベッドタウンに特化した存在でよいのではないか。その施策を。</li> <li>・市議会議員と、もっと話す機会が欲しい。</li> </ul> <p>○ 高校生は、概ね将来展望はできていて、故郷に帰る思いの生徒も多いと感じた。 今後も話し合う機会が欲しいとの意見は複数の生徒から聞くことができ、議会としてもこのような機会を重ねたいと思う。</p>	

高校生との意見交換会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和4年2月28日

報告者 班長 藤原 芳巳